



日ごろの成果を發揮

神戸市スポーツ少年団リーグ前期終了

4月24日に開幕した神戸市スポーツ少年団リーグは7月17日、前期116ゲームを終了し3部、4部ともA、B、Cグループが決勝した。3部Aグループに残った8チームはさすがに良いチームばかりで、後期の激戦が期待できる。また、4部は後期、トーナメントだけに予選を許さない。

後期は7月26日から10月中旬まで、御崎少年サッカー場を中心に101ゲームが行われる。

なお、8月21日午後6時30分から三宮みかど食堂2階で、前期の反省と4部後期の抽選が行われる予定。

3部の後期のグループ分けは次のとおり。
Aグループ 丸山A、千歳A、北須磨、たちばなA、蓮池A、東灘A、神戸D、神陵台A
Bグループ 渕森A、湊川多聞A、成徳A、鶴越B、魚崎、多井畑A、北五葉A、たちばなB
Cグループ 桜宮A、YMCA・A、板宿A、鶴越A

3部 1組(小学6年生以下)

順位	チーム	丸山A	神陵台A	渕森A	魚崎A	たちはなB	桜宮A	勝点
1	丸山A	○	○	○	○	●	○	6
2	神陵台A	●	○	○	○	○	△	5
3	渕森A	●	○	○	○	○	△	4
4	たちはなB	○	●	○	○	○	△	3
5	桜宮A	●	○	○	●	●	△	2

男の子にまけないわ
(6月6日、東灘小)

2組

順位	チーム	東灘A	北須磨	成徳A	多井畑A	池田A	勝点
1	東灘A	○	○	○	○	○	8
2	北須磨	●	○	○	○	○	6
3	成徳A	○	●	○	○	○	4
4	多井畑A	○	○	●	○	○	2
5	池田A	●	○	○	○	○	0

4部 1組(小学5年生以下)

順位	チーム	丸山C	成徳B	湊川多聞B	渕森B	多井畑B	池田A	勝点
1	丸山C	●	○	○	○	○	○	8
2	成徳B	○	●	○	○	○	○	6
3	湊川多聞B	○	●	○	○	○	○	6
4	渕森B	●	○	○	○	○	○	4
5	多井畑B	●	○	○	○	○	○	4
6	池田A	●	○	○	○	○	○	0

高倉中を破って優勝した魚崎中

2組

順位	チーム	東灘B	神戸E	御影B	千歳B	桜宮B	YMCA・B	勝点
1	東灘B	○	○	○	○	○	○	10
2	神戸E	●	○	○	○	○	○	8
3	御影B	○	●	○	○	○	○	4
4	千歳B	●	○	●	○	○	○	4
5	桜宮B	○	○	○	○	○	○	4
6	YMCA・B	●	○	○	○	○	○	0

3組

順位	チーム	蓮池B	神陵台B	板宿B	北五葉B	鶴越C	しいのみ	勝点
1	蓮池B	○	○	○	○	○	○	10
2	神陵台B	●	○	○	○	○	○	8
3	板宿B	○	●	○	○	○	○	5
4	北五葉B	●	○	○	○	○	○	3
5	鶴越C	○	●	○	○	○	○	2
6	しいのみ	●	○	●	○	○	○	2

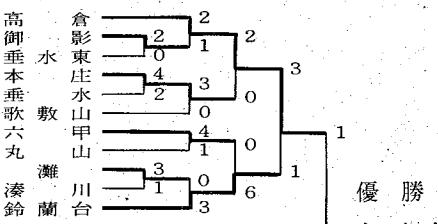
4組

順位	チーム	神戸D	千歳A	北五葉A	湊川多聞A	鶴越A	YMCA・A	勝点
1	神戸D	○	○	○	○	○	○	10
2	千歳A	●	○	○	○	○	○	8
3	北五葉A	●	○	●	○	○	○	4
4	湊川多聞A	○	●	○	○	○	○	4
5	鶴越A	●	○	●	○	○	○	4
6	YMCA・A	●	○	○	○	○	○	0

神戸市中学校総合体育大会

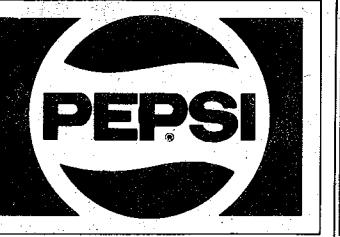
魚崎8年ぶり優勝

古豪魚崎が高倉を下して、8年ぶりの優勝をとげた。両チームは昨年の決勝でも顔を合わせており、宿敵のライバルである。暑さをふき飛ばす元気なプレーが展開され、氣力にみちた魚崎が2点を先取し、終了近く1点差につめ寄られたが逃げきった。ダークホース神大付がシードの鷹匠を破ったが、準決勝で魚崎の前に力尽きた。



優勝 魚崎 中
魚崎 中

男子にまけないわ
(6月6日、東灘小)



1976 8月号

発行所
神戸市サッカーアカデミー
神戸市灘区上野通6丁目3-12
TEL (078) 861-3838
発行人 加藤正信
編集人 辻
購読料 1部 20円
毎月 1回 10日発行

競争技、広げ友情の輪

8月28、29、30日 中央球技場ほか



(写真は昨年の大会より)

第6回西日本ジュニアサッカーフェスティバル大会は8月28、29、30の3日間、神戸中央球技場のほか3会場に分かれて熱戦が繰り広げられる。

昭和46年夏、広島と清水の少年チームが神戸で交歓試合をやろうというが、この大会のはじまりで、回を重ねるごとにますます盛んになってきた。社会体育の一環として、少年チームの育成に情熱を燃やしている地域から招待しているが、出場を希望するチームが多く、昨年は44チームが参加した。今年は日程などの都合で32チームが来神するが試合の結果よりも、むしろ将来の日本サッカーを背負ってたつ青少年の出現をより重要視して、この大会が友好的に運営される。

今年は参加チーム数を絞ったわりに、より密度の高い試合が期待できる。また、新しく出場する西日本選抜と神戸市選抜チームの活躍が注目されている。西日本選抜は、単独参加チーム以外の地域から優秀な選手を集めてチームを結成するもので、これが各地の少年たちの努力目標になれば、一層もり上がることになろう。

さらに、指導者の研修の場として、大いに実践し意見をかわすことが、運営目標のもうひとつの柱でもある。参加チームの指導者を対象とした講習会を予定しており、講師は日本会議技術委員会中、小委員会委員長の堀田哲氏で清水チームの監督でもある。

各チームのレベルは高く、数年前に参加した少年たちは、今や中学や高校で大活躍している。この大会は、少年サッカーの育成はどうあるべきか、また日本サッカーのあり方など多くの問題を提起してくれる。中学、高校はもちろん社会人の指導者の方々にもぜひ一度、彼らのプレーを見守っていただきたい。炎天下ではつらつとしたさわやかなプレーは、あなたに大きな感動を与えることでしょう。

◆I部 中学3年以下 4チーム (神戸FC C、清水、枚方、静岡城内) ◆II部 中学2年以下 4チーム (神戸FC C、清水、浜松、藤枝城内) ◆III部 中学1年以下 8チーム (A:神戸FC C、香川、名古屋、西日本選抜、B:神戸市選抜、熊本、清水、大河) ◆IV部 小学6年以下 8チーム (A:神戸FC C、広島、津山、藤枝、B:若松、広島、大徳、清水) ◆V部 小学5年以下 4チーム (神戸FC C、香川、四日市、清水) ◆VI部 小学4年生 4チーム (神戸FC C、清水、浜松、藤枝)

神戸中央球技場	御崎サブグラウンド	御崎少年グラウンド	兵庫工高グラウンド
II 清水一派 松 (13:40)	III A KFC一香川 (13:40)	IV A 藤枝一本学 (14:00)	VIA KFC一香川 (14:30)
II KFC一藤枝 (14:50)	III A 名古屋一西日本 (14:40)	VIB 広島一若松 (14:	

神戸大が兵庫一

波乱あったが内容は低調

天皇杯全日本選手権兵庫大会

4月4日から3ヶ月間、磯上球技場など県下各地の会場で行われ、神戸大学の優勝で幕をとじた。

7月18日の決勝戦は神戸大学と川崎重工の間で争われた。焼けつくような暑さの中で、神大は若さにののをいわせて川重を圧倒し、前半に早くも2点をとり大勢を決めた。神大は関西学生リーグの3部ながら、充実した練習で個人およびチームのレベルをあげ、いま最高のムードにあるようだ。川重は県社会人リーグの成績が不振だっただけに、この大会にかけた。これといったスター選手はないが、チームのまとまりでここまでがんばることができた。3、4位の日本触媒、古河金属も県社会人リーグのチームで、今年から復活した同リーグの成果が、早くもこの大会に

表れたとみることができる。

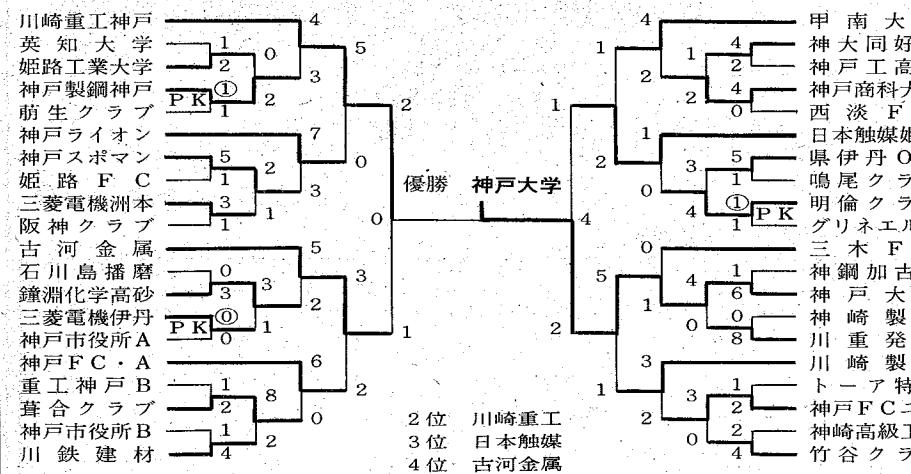
勝ち抜きトーナメントのカップ戦は、下位のチームが一発勝負で、意外な波乱を起こすところにおもしろさがある。甲南大、神商大といった好チームが早い時期に姿を消したり、神戸FC、川崎製鉄らが敗退したのは、リーグの試合ぶりからみたら意外だったが、とにかく兵庫県レベルでは、まじめに練習を積んだチームが勝てるなどを、この大会は物語っている。

総勢80チームが参加した今年の大会は、いまひとつ盛り上がりに欠けていた。昨年に比べ、レベルが低下しているとみる大会関係者が多い。県や地域協会でチームがランクづけされる各リーグの試合に、重点をおいている

これがなかったのが、この大会にかけた。これといったスター選手はないが、チームのまとまりでここまでがんばることができた。3、4位の日本触媒、古河金属も県社会人リーグのチームで、今年から復活した同リーグの成果が、早くもこの大会に

第56回 天皇杯全日本選手権兵庫大会 結果（3回戦以降）

（4月4日～7月18日、磯上球技場ほか）



からんだ前田（三菱重工）の運動量が光った。残念ながら準決勝で名古屋に敗れたが、全力を出しきった神戸イレブンに、観衆から惜しみない拍手が送られた。（オ）

昭和51年度 五大都市体育大会結果

五大都市体育大会の神戸市

神戸、横浜、大阪、京都、名古屋が参加する五大都市体育大会は7月17、18日、横浜で行われ神戸（サッカー）は健闘むなし決勝進出はならなかった。

大阪との試合は終始神戸のペースで進められ、特にハーフ陣の活躍が関根の得点力に結びつき、前半で3点を先取し勝負を決めた。

18日の名古屋戦では、双方とも決勝進出をめざして激しい攻防を展開した。前半1点を許したが後半すぐに同点とし、その後、追われつ追いつのシーソーゲームとなり、2対2のままPK戦かと思われた終了数十秒前に、わずかのすきをつかれて涙をのんだ。

総得点5点のうち4点をたたきこんだ関根（兵庫教員）の破壊力と、ほとんどの得点に

京 都 0
名 古 屋 1
神 戸 3
大 阪 2
京 都 2
大 阪 1 P.K. 2
横 浜 4

優勝 横 浜

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）

（2）